



## 高等学校 情報科の指導の充実に向けて

高等学校情報科については、令和4年度より共通必修履修科目「情報Ⅰ」の履修が開始され、令和5年度には選択科目「情報Ⅱ」の開設が予定されています。少し前になりますが、中央教育審議会答申(中教審第197号)では、「情報科は、小・中・高等学校の各教科等の指導を通じて行われる情報教育の中核」であることが示されました。また、「生涯にわたって情報技術を活用し現実の問題を発見し解決していくことができる力を育む教科」としても位置付けられています。AIやIoT等が当たり前のSociety5.0とも呼ばれる新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとの予測もなされています。こうした社会を生きていく児童生徒たちのためにも、情報科においては、その指導体制の一層の充実が求められています。

### I 研修機会の充実

文部科学省では、令和4年度における公立高等学校情報科担当教員の専門性の向上及び採用・配置等に関する状況の調査を踏まえ、免許状保有者による指導体制の確保及び担当教員全体の指導力の向上に関する施策パッケージ(下図)を公表しています。各学校においては、情報科の教員等が研修に活用できるように情報提供を行っていただき、情報科教員の専門性の更なる向上にご協力をいただければと思います。

#### 【施策パッケージにおける主な研修用動画等】

- ① 一般社団法人情報処理学会等と連携した様々な**研修用教材・講義動画等**の提供
- ② 優れた指導力を有する教員による**実践的なオンライン研修講座**の開設
- ③ 情報Ⅰのポイントをわかりやすく解説した**授業動画**(11月から順次公開)
- ④ **NHK 高校講座「情報Ⅰ」**(令和5年3月放送開始予定 文部科学省教科調査官が監修)

「情報Ⅰ」は、導入間もない科目であり、授業等で幅広く活用できる動画教材などが不足しておりました。文部科学省では、施策パッケージを通じて、「情報Ⅰ」に関する授業動画を充実させることにより、教員の指導力の向上や生徒の学習をサポートする取組を行っています。ぜひ、このような授業動画や研修用コンテンツを活用して、授業等の充実に生かしほしいと考えております。

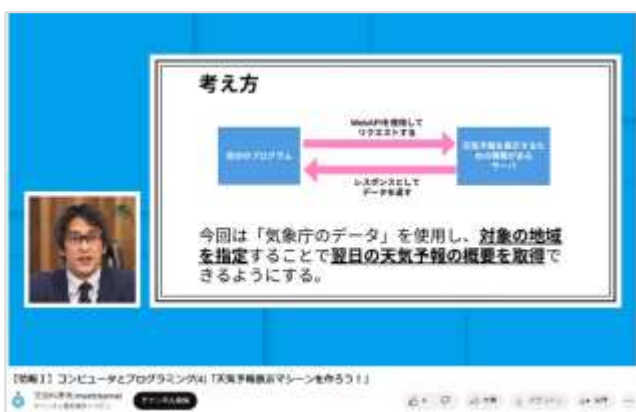


【出典】文部科学省



【出典】：文部科学省/mextchannel

## 2 「情報Ⅰ」学習内容 解説動画について



動画は情報科教員の皆さんにとって、極めて有用な研修教材になります。授業の冒頭に流したり、自宅での視聴を促した上で授業を展開したり、授業に活用することも可能です。

また、生徒にとっても、高校の授業の予習や復習に活用したり、長期休業中の復習に用いたりすることが可能です。令和4年12月現在、「コンピュータとプログラミング」の分野に関して、4本のコンテンツが公開されていますが、「データサイエンス」の内容等も含めて、最終的に20本の動画が配信される予定です。

【出典】文部科学省/mextchannel 「情報Ⅰ」授業・解説動画 コンピュータとプログラミング 「天気予報表示マシンを作ろう！」  
上記は、Web APIを活用したプログラミングについて解説した動画の一場面です。15分程度と短時間でありながら充実した内容です。

## 3 高等学校「情報Ⅰ」オンライン学習会が開催

高等学校「情報Ⅰ」オンライン学習会が開催されます。第1回(1月5日)・2回(1月6日)は、情報Ⅰの授業を実施する上でのヒントなどを中心とした内容が予定されています。

講師は、中央教育審議会情報ワーキンググループ委員等を歴任し、当センターの「共通教科情報科研修会」でも講師をお願いしました、東京都立町田高校 指導教諭の小原格先生です。早くから情報科の実践を積み重ねられてきた小原先生のお話はとても示唆に富み、明日からの授業づくりに役立つ内容ばかりです。多くの先生方にご参加いただきたい企画です。

参加には事前申し込みが必要です。当日は質問も可能ですので、ぜひ、この機会を活用してください。なお、詳しくは、文部科学省「高等学校情報科に関する特設ページ」にアクセスしてください。



【出典】文部科学省 初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム

## GIGA スクール構想を浸透させる取組

### 文部科学省「StuDX Style」

「StuDX Style」に新たなコンテンツが追加されました。掲載されている取組は、「共同編集機能」に関する内容です。どの教科等でも活用できる汎用的な事例として、「2-⑪共同編集機能で進捗を見える化」「3-⑮1人1シートを相互参照」の2つが追加されています。

この機能を活用することで、児童生徒が課題等に取り組んでいる「途中」が共有されますので、児童生徒にとっては、学習活動の「足場かけ」等の効果が期待できます。また、教員にとっても、児童生徒の状況を一覧で確認できる等のメリットがあります。ぜひ、ご覧ください。



【出典】文部科学省

編集後記

10月から11月は学校行事も多いことに加えて新型コロナウイルス感染症対策もあり、準備から開催まで大変ご苦勞の多い時期だったのではないのでしょうか。さて、Mナビ新聞は、令和5年も引き続き、情報教育を推進する先生方のお役に立てる情報を発信して参りたいと思います。次号もぜひご覧ください。  
担当：本郷